

春日市
地域活動
指導員だより

No. 121

2023.1月号

らいん

地域の未来へつなぐ活動情報紙

発行：春日市教育委員会
地域教育課こども共育担当

TEL 092-981-0101

FAX 092-584-1153

地域で子どもを育てる活動情報をお寄せください（イベント予告可）。
地域活動指導員が取材に伺います。

KASUGA CITY 50TH ANNIVERSARY
春50TH
令和4年4月1日 春日市制50周年

■ 特集

自治会とコミュニティ・スクール

春日市には35の自治会があり、それぞれの地区の特色を生かしながら、地域住民が中心となって、子どもたちに遊びの場や体験の場、学びの場を提供しています。多様な地域活動が、点ではなく面となって展開され、まちぐるみで子どもたちを育み、春日市のコミュニティ・スクールを大きく支えています。

市制50周年を機に、市内各地区自治会が関わっている学校・地域の様々な取り組みを紹介します。

※ コミュニティ・スクールとは、学校、保護者、地域住民が一緒になって子どもたちを育てる仕組みをもつ学校のことです。



公民館寺子屋



茶道



生け花



地域清掃



昔遊び



しめ縄作り

野菜作り



自治会連合会会長
秋枝 恵美さん

その昔、餅つきやお宮のお世話など多くのことを地域のみんなですることによって、子どもたちにも隣近所や大人とかがかわる機会が日常の中にありました。

社会構造の変化の中で少しずつ繋がりが希薄となり、子どもたちの生きた学びの場としての地域の在り方も再認識されることとなりました。コミュニティ・スクールの仕組みが構築され、《地域を生かす・地域を学ぶ・地域と学ぶ》を具現化するにあたって、35の各地区自治会はそれぞれの実態と願いの下、地域行事や学校との連携活動を推進しています。

コミュニティ・スクール発足から17年。子どもたちはすっかり大人になって、地域へ挨拶に来たりします。この子たちがやがて地域へ戻り、地域行事や地域自治の運営にかかわってくれるようになる日も近いのではないかと嬉しい想像をしています。共育は、子どもたちの自己実現のみならず、地域づくりにも繋がっています。《共に創る地域自治！次世代への繋がりが！》

地域の輪(和)、人と人との輪(和)をつなぐという意味を込めて名づけた「地域活動指導員だより“らいん”」。市内各地区の活動を地域活動指導員が取材し、発信します。

市ウェブサイト“らいん”掲載ページ →





春日中校区

小倉公民館 アンビシャス広場『卓球教室』

小倉公民館で毎月第3土曜日に開催されているアンビシャス広場「卓球教室」。地域住民が子どもたちの指導にあっています。「よろしくお願いします！」の挨拶で活動がスタートし、まずは準備体操。その後、ラケットの持ち方、姿勢、レシーブ、サーブをマンツーマンで教えてもらい、初めて参加した子どもも2時間足らずで随分と上手になりました。子どもたちは真剣な表情で練習し、最後は対戦形式で試合のルールも学びました。途中、小学生の頃に参加していた中学生が合流し、卓球部で習得した技を小学生に披露しました。時間いっぱい卓球を楽しんだ子どもたち。見守りにあたる同地区の丸林さんは、「月に一度、思い切り卓球を楽しんでほしいです」と話しました。



▲ラケットの持ち方を指導している様子



▲レシーブ練習

▲素振り

東中校区

千歳町公民館 餅つき大会

12月4日(日)、心配された雨もやみ、千歳公園で餅つき大会が開催されました。当日は中学生もボランティアで参加。朝早くから餅米を蒸し、道具や会場準備が行われ、家族連れ等多くの来場者で賑わいました。自治会の方が声をかけ、大人も子どもも順番に餅つき体験。地域の方にコツを聞きながら、「1・2・3、1・2・3」と声を掛けあい、杵を動かし、力を合わせていました。臼の中のもち米は、次第にひとつのかたまりのお餅に。体験したお父さんは「汗をかきました。力がいらすね」、小学生は「餅つきは初めて。楽しかった」との感想。つきたてのお餅は、あんこ・きなこ・納豆・大根おろしなどで振る舞われ、餅つきを通して地域住民が久しぶりに顔を合わせる機会にもなりました。



▲コツを聞きながら餅つきをする中学生



▲餅つき大会会場の様子

西中校区

白水ヶ丘公民館 ふれあい文化祭



11月12日(土)、13日(日)、白水ヶ丘公民館でふれあい文化祭が開催されました。春日西中学校吹奏楽部の演奏で1日目スタート。アンコールを含めた4曲を披露し、会場を盛り上げました。2日目は、子ども会がくじ引きやスーパーボールすくいブースを担当。多くの子どもたちで賑わいました。館内には、地域の方の手芸や写真のほか、白水小・春日西中の児童生徒の絵や書道、自由研究が展示され、来場者は力強くも繊細な作品の数々に見入っていました。自治会からぜんざいの振る舞いや、白水小おやじの会、商工会の飲食販売等もあり、地域住民の交流の場となっていました。



▲春日西中吹奏楽部の演奏



▼作品展示



▲子ども会の販売ブース

南中校区

白水池公民館 クリスマス会



白水池公民館で月1回土曜日に開催されているアンビシャス広場「土曜あそび隊」。12月3日(土)、クリスマス会を開催しました。今回のクリスマス会は、自治会の福祉部「なかよし広場」と合同で行われ、未就学児と小学生が集まりました。参加者が飾り付けた会場は、クリスマスモードに包まれました。会の前半は、小学生と未就学児で部屋を分けて活動。小学生チームは、6年生が準備したゲーム「いすとりゲーム」「フルーツバスケット」などで盛り上がり、未就学児チームは、親子で「クリスマスツリー作り」をしました。それぞれ家庭から準備したプレゼントを交換した後、全員で集まりビンゴゲームを楽しみました。今回のクリスマス会は、6年生が事前に企画・準備したもので、当日の司会進行もスムーズで、とても楽しいクリスマス会となりました。



▲ビンゴゲームで司会をする6年生



▲イスとりゲームの様子

野中校区

春日公民館 世代間交流グラウンドゴルフ大会

10月15日(土)、春日野小学校校庭で、春日地区グラウンドゴルフ大会が開催されました。世代間交流事業として開催され、春日、原町、春日南の各子ども会から5・6年生15名と、春日地区シニアクラブ若水会及び保護者38名が参加し、秋晴れのもとグラウンドゴルフを楽しみました。児童代表が「今日はお招きいただきありがとうございます」と挨拶し、競技スタート！参加者は異世代混合チームでコースを回り、スコアを競いました。グラウンドゴルフを初めて体験する子どもたちは、若水会の方にルール、スティックの持ち方を教えてもらいながらプレー。中には、大人顔負けにホールインワンを出し、上位入賞を果たす子どももいました。試合終了後は子どもたちへのお楽しみ企画「ホールインワンゲーム」で商品獲得を目指して大いに盛り上がりました。



▲若水会の方に教えてもらっている様子



▲ホールインワンゲーム

北中校区

日の出公民館 避難所運営ゲーム (HUG)



11月6日(日)、日の出町公民館で「HUG」を使った防災訓練が開催されました。災害が起こったときに力になってもらえたら、と自治会からの呼びかけで中学生5名を含む25名が参加しました。「HUG」とは、避難所(H)運営(U)ゲーム(G)の略称です。春日市安全安心課担当者進行のもと、グループに分かれ「避難者をどの部屋に割り当てるか、仮設トイレはどこに置くか」など避難所運営の意見を出し合っゲームを進めていきました。中学生からは、「防災について知りたいと思い参加した」「色々な事情の人をどの部屋に入れるか考えるのが難しかった」「状況を把握しながら、先を見越して動かないといけないと感じた」などの感想が聞かれました。このほか、DVD鑑賞や、春日・大野城・那珂川消防本部のご協力で脱出用シューターの体験もありました。



▲図上防災訓練【HUG(ハグ)】の様子

自治会をはじめとする地域活動やコミュニティ・スクールの取り組みを約1年にわたって取材した動画「協働のまち かがや つながる はぐくむ 支え合う 春日市の自治会とコミュニティ・スクール」を市ウェブサイトに掲載しています。心温まる映像をぜひご覧ください。

視聴はこちらから⇒



地域コーディネーターの活動を紹介します！

春日北小学校地域コーディネーター

原田 美佐子さん、臼井 亜弥さんにお話を伺いました

コミュニティ・スクールとして18年目を迎える春日北小学校は、現在、児童数515名、23学級、校区は岡本・須玖北・桜ヶ丘地区です。今年度、地域コーディネーター（地域CD）は2名体制で、学習支援ボランティアのとりまとめや、地域連携カリキュラム・実働組織としての課題別コミュニティ・学校運営協議会の運営支援、地域の方々との連絡・調整などを行っています。学校運営協議会は難しいと敬遠されがちですが、分かりやすく伝えることをモットーにコミュニティ・スクール通信を作り、話し合われた内容を広くお伝えしたいと思っています。また、なじみの少ない地域CDについては、年度初めに右下記のプリントを作成し、まずは先生方やPTA役員の方々に配付して活動への理解を得ることに努めました。地域CDとしてたくさんの方と出会い、地域を知る機会も増える嬉しさを感じながら、今後も学校・家庭・地域をつなぎ、春日北小学校の子どもたちの教育活動を支えていきたいと思っています。



3年生校区探検



きたっぴい先生（丸付け）



5, 6年生クリーン活動



1年生昔あそび

コミュニティ・スクール 春日北小学校

地域学校協働活動を応援しています

春日市ではコミュニティ・スクールの取組を充実させるため、全ての小・中学校に、教育委員会から委嘱された地域コーディネーター（地域学校協働活動推進員）が配置されています。

令和4年度 春日北小学校
地域コーディネーター（2名）
CS担当として
きたっぴい先生の
とりまとめをしています

原田 美佐子
北中地区主任児童委員(選) PTA副会長(1930-19)
(桜ヶ丘)

臼井 亜弥
PTA副会長(1930-19)
(桜ヶ丘)

活動場所：CSルーム（きたっぴいホール前）
活動時間：週2～3日 9:00～12:00（19年度はより詳細な案内があります）

～地域・家庭と学校をつなぐ～
春日北小学校
地域コーディネーター

教育活動等への支援

- ・地域連携カリキュラムの授業支援、取材、記録
- ・自治体等との連絡調整
- ・きたっぴい先生の募集～集約、名簿・名札作成、当日受付、対応

学校運営協議会への参加、運営支援

- ・資料作成補助、印刷
- ・課題別コミュニティ運営支援
- ・会議
- ・広報

学校・地域の情報の収集、発信

- ・地域行事への参加、取材
- ・PTAや子ども会育成会等の取材

地域コーディネーター活動紹介

まらい春日の人

塚原台アンビシャス広場
コーディネーター
田原 文雄 さん



塚原台地区にお住まいの田原さんは、平成24年から2年間自治会長を務め、同年から子どもたちの登下校の見守りを続けています。平成26年からは、公園愛護会の清掃活動や塚原台アンビシャス広場のコーディネーターとしても活躍しています。現在、塚原台公民館のアンビシャス広場では、卓球・太鼓・グラウンドゴルフ・切り絵・自由遊び・茶道を開催中。そのほか様々なイベントもあり、今年初めて開催した夏休みサマースクールやスノードーム作りには、多くの子どもたちが参加しました。「子どもたちの成長が楽しみで、周りにいるスタッフにも恵まれて、活動を続けています」と話す田原さん。子どもたちに、いつも優しい眼差しを向けていらっしゃいます。



▲ 子どもたちの活動を優しく見守る田原さん



春日市全12小学校おやじの会合同企画

スポGOMI大会&おやじ縁日FES

「子どもたちが笑顔になる企画にしたい」。市内全12小学校のおやじの会が集結し、春日市制50周年を記念したイベントを開催しました。前半は、拾ったゴミの量と質を競う「スポGOMI大会」。各小学校一斉にスタートし、学校単位のチームで力を合わせ、制限時間いっぱい地域のゴミを拾いました。後半は、白水大池公園の芝生広場に場所を移して「おやじ縁日FES」を開催。各校おやじの会によるフライドポテト、焼きそば、綿菓子等の模擬店屋台のほか、餅つき、ゲーム等の体験コーナーもあり、多くの来場者で賑わいました。秋晴れのもと、おやじの会の団結力と行動力を存分に発揮した今回のイベント。多くの子どもたちの笑顔があふれていました。



▲親子で地域のゴミ拾い



▲縁日会場の様子



▲おやじの会の模擬店



▲各校おやじの会の皆さんと来場した子どもたち